

第15回議会報告会議事録（要約）

と き	平成29年11月13日（月）	19時～20時50分
ところ	社福祉センター 2階 レクリエーション室	
テーマ	第1部：5月臨時会、6・9月定例会の報告について 第2部：車座で議員と語ろう（フリートーク）	
参加者数	31名	
参加議員（15名）	大畑一千代 ・高瀬 俊介 ・長谷川幹雄 ・石井 雅彦 岸本眞知子 ・小川 忠市 ・小紫 泰良 ・磯貝 邦夫 安田 朗 ・長谷川勝己 ・桑村 繁則 ・山本 通廣 二階 一夫 ・井上 茂和 ・藤尾 潔	
書 記	1部：石井・岸本・安田 2部：長谷川勝・小川・小紫・藤尾 ／総括：石井	
特記事項	議員1名欠席	



【概況】

当初準備していた席を途中で追加するほどの盛況で会場が熱気に満ち溢れた報告会となった。「車座で議員と語ろう」では4つのテーブルで行い、どのテーブルも活発な意見・要望が飛び交い時間が足りないようであった。

Q：質問、要望等 A：回答

【 第1部 】	
Q 1	新たな農業委員について、市長はどのような方を任命されるのか。
A	まずは、地区の区長の推薦を基本とする。
Q 2	農業委員に対して、区長の数の方が多いが。
A	2つの地区を1つに考えてそれぞれ1名の農業委員と2名の推進委員を推薦することになる。

第1グループ	【 第2部 】
Q 1	議会報告会は必要ないのではないか。
A	議会に対しての思いや要望等の意見を聞く場であると考えている。
Q 2	営農組合に若い人も入って来やすいように補助を考えてほしい。
A	要望として承る。
Q 3	「ミナクル」の看板を設置してほしい。
A	要望として承る。
Q 4	「とどろき荘」は今後も改修して存続していくのか。
A	公民館機能を2階に入れ、スリム化を図って存続していく。
Q 5	小中一貫校で、ハード面は理解できるが、ソフト面はどうなるのか。
A	これからソフト面やPTAのあり方を詰めると思う。教育のカリキュラムなどの中身も決まってくると思う。
Q 6	今後企業誘致はあるのか。
A	今後検討されていくが、現時点では未定である。
Q 7	市は人口を増やす事を考えているのか。三世代同居の家族への助成
	をしてみてもどうか。
A	要望として承る。

第2グループ	
Q 1	「とどろき荘」の指定管理は現在社会福祉協議会だが、活性化の観点から民間の活力を導入すべきだと思うが。
A	民間の活力導入は、所管の委員会で指摘してきた。市は次期の指定管理を公募したが、社会福祉協議会しか面接を受ける団体がなかった。
Q 2	夕日ヶ丘公園にグラウンドゴルフ場があるが、他にも整備してほしい。
A	やしろ鴨川の郷にも立派なグラウンドゴルフ場がありそこを利用されてはどうか。
Q 3	東条地域小中一貫校の敷地は、東条文化会館も含むのか。
A	現段階では校舎敷地予定はない。議会だより（P 7）に記載のとおり3年間の指定管理者の運営状況をみてその後方針を決定する。
Q 4	現在の東条中学校の校舎はどうするのか。
A	校舎、体育館等は全て解体する。運動場は新小中一貫校の大運動場として整備し、主にクラブ活動に利用する予定である。
Q 5	今後、免許を返納して自動車が運転できなくなった場合に移動手段がなく不便になり不安だ。福祉タクシー利用券でも足りなくなる。市内全域に自主運行バスを走らせてほしい。 自主運行バスでの市外へのアクセスも考えてほしい。

A	<p>現在、自主運行バスは「鴨川地区」と「米田地区」で運行している。</p> <p>市は各地区に自主運行バスの導入を進めている。</p> <p>議会でも交通網計画の迅速な実施を指摘している。</p>
Q 6	<p>議会報告会第2部の「車座」方式はいいが、同一会場だと騒がしく声か聞き取れない。グループごとに個別の部屋を設けてもらえたらどうか。</p>
A	<p>意見としてお聞きしておき今後の検討課題とする。</p>
第3グループ	
Q 1	<p>鳥獣被害については限界に来ている。防護柵を設置したいが補助の要綱はあるのか。</p>
A	<p>国や市の補助金があるので市に問い合わせさせていただきたい。</p>
Q 2	<p>ため池改修の補助金の率は良いが水路の補助金の率が30%と低い。国・県にお願いして補助率を上げてほしい。</p>
A	<p>要望として承る。</p>
Q 3	<p>国道372号線の上三草から上鴨川にかけてカーブが多く事故が多い。交通安全対策を考えてほしい。</p>
A	<p>要望として承る。</p>
Q 4	<p>「まちかど体操」は市の補助がなく地区で負担している。市からの補助があっても良いのではないか。</p>

A	要望として承る。
第4グループ	
Q 1	東条の小中一貫校の工事費が56億円となっているが、財政的に大丈夫か。社・滝野を整備する時にお金が残っていないということにはならないか。
A	当初は既存の施設を有効活用することとしていたが、プール・体育館を新設することとしたため事業費が上がった。社・滝野も同様に新設となれば財政的な負担は大きくなる。既存の設備を利活用することに理解が得られるかどうかは課題である。
Q 2	社小学校跡地は住宅分譲など人口増につながる利活用を考えるべきではないか。
A	今後利活用方法は地域の皆さんと協議の上決めていくことになると思う。
Q 3	空き家の有効活用について、新たな住民と村の決まり・財産区の問題などが出てくる可能性がある。協定をしている自治会もある。その協定のモデル的なものを市が示してくれるとありがたい。
A	今後研究する必要があると思う。
Q 4	壊れている空き家について、空き家条例で市でも対応してくれるとのことだが、区長も知らないケースがある。啓発が不十分では。
A	意見としてお聞きする。